

学校法人ISI学園 専門学校東京ビジネス外語カレッジ

2023年度 シラバス

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	表現研究Ⅱ		（ TCH103 ）
講義名（コード）	TCH_表現研究Ⅱ_D		（ TCH103D ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	中村 久子	時間数	30
成績評価教員	中村 久子	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が立場の異なる他者と適切に対話するために、その場に応じた表現で自分の意見が伝えられるようになる。
全体の内容と概要	N2レベルの文法と聴解を学ぶ。試験形式の演習を行いJLPTのN2に合格する力をつける。また、フォーマルな言い方や書き言葉を学び、状況に応じた日本語を使い分けられるようにする。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	必修パターンN2聴解 ポイント理解 1 9～2 2 耳から覚える文法トレーニングN2
2	具体的な情報を聞き取り、メモを取りながら内容が理解できる。	必修パターンN2聴解 概要理解 2 3～2 6 耳から覚える文法トレーニングN2
3	質問に対する的確な答えが言える。	必修パターンN2聴解 概要理解 2 7～3 0 耳から覚える文法トレーニングN2
4	N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	必修パターンN2聴解 即時応答 3 1～3 9 耳から覚える文法トレーニングN2
5	具体的な情報を聞き取り、メモを取りながら内容が理解できる。	必修パターンN2聴解 即時応答 4 0～4 8 耳から覚える文法トレーニングN2
6	質問に対する的確な答えが言える。	必修パターンN2聴解 統合理解 4 9～5 2 耳から覚える文法トレーニングN2
7	N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	必修パターンN2聴解 統合理解 5 3～5 6 耳から覚える文法トレーニングN2
8	模試を行い試験に向けて実践的な力をつける。	演習・解説（JLPT模試 聴解）
9	模試を行い試験に向けて実践的な力をつける。	演習・解説（JLPT模試 聴解）
10	具体的な情報を聞き取り、メモを取りながら内容が理解できる。	必修パターンN2聴解 期末対策 耳から覚える文法トレーニングN2
11	総合的な聴解力を身につける。	後期のまとめ
12	総合的な聴解力を身につける。	後期のまとめ
13	総合的な聴解力を身につける。	後期のまとめ
14		期末試験
15		期末試験 解説 & 追試

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	必修パターンN2 聴解 耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2
参考文献・資料等	
備考	クラスの状況に応じて進度を変えることがあります。